

## 会 議 録

会議名称	第6期幸区区民会議 第2回専門部会（B部会）
日 時	平成28年10月27日（木）18：30～20：00
会 場	幸区役所 4階第4会議室
出席者	<p>●区民会議委員（50音順）</p> <p>阿部稔子委員（副部会長）、板橋洋一委員、伊藤善通委員、神谷修委員（部会長）、中原敏子委員、成川慎一委員（全体会議委員長）、松井節子委員（全体会議副委員長）</p> <p>●事務局</p> <p>幸区役所 田村副区長</p> <p>幸区役所まちづくり推進部企画課 岸課長、吉岡課長補佐、佐藤係長、安藤職員、（株）社会空間研究所 中島氏、柳澤氏</p>
欠席者	高橋希委員
傍聴者	なし
配布資料	<p>●議事次第</p> <p>●資料1 地域の魅力発信に関する幸区内の主な取組状況</p> <p>●資料1－別紙 事例紹介（抜粋）</p> <p>●資料2 これまでの区民会議における地域の魅力発信に関する提言と取組内容</p> <p>●資料3 他都市等における先行事例</p> <p>●資料4 部会名について</p> <p>●資料5 第6期幸区区民会議（第2回）におけるB部会報告内容について</p> <p>●資料6 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて</p>
議 題	<p>1 地域の魅力発信に関する取組等</p> <p>ア 幸区内における主な取組状況</p> <p>イ これまでの区民会議における提言と取組内容</p> <p>ウ 他都市等における先行事例</p> <p>2 審議テーマに係る今後の取組の方向性の検討</p> <p>3 部会名について</p> <p>4 第6期幸区区民会議（第2回）におけるB部会報告内容について</p> <p>5 今後のスケジュールについて</p>

<p><b>決定事項</b></p>	<p><b>1 審議テーマに係る今後の取組の方向性の検討</b></p> <p>今後の取組の方向性として、次の2点を決定した。</p> <p>(1)幸区の魅力となる地域資源の調査</p> <p>(2)対象を意識した効果的な情報発信手段の検討</p> <p><b>2 部会名について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部会名は「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」に決定した。</li> </ul> <p><b>3 第6期幸区区民会議（第2回）におけるB部会からの報告内容について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立候補により伊藤委員を報告者とし、報告内容案（資料5）を承認した。</li> </ul> <p><b>4 今後のスケジュールについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料6により今後のスケジュールを確認・共有した。</li> </ul>
<p><b>会議の内容 及び 主な発言</b></p>	<p><b>1 審議テーマに係る今後の取組の方向性の検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●事務局より資料1・2・3について説明した。</li> <li>○今後の取組の方向性として次の2点を決定した。</li> <li>(1)幸区の魅力となる地域資源の調査</li> <li>(2)対象を意識した効果的な情報発信手段の検討</li> </ul> <p><b>【主な意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力発信に関する取組がたくさんあるが区民に知られていない。その原因を知る必要があると思う。また、取組を知ってもらい、その魅力をより重厚にしていくべきだと思う。</li> <li>・取組が単発で終わるのではなく、取組を積み上げていくことにより、PRに繋がると思う。</li> <li>・市外の人に効果的にPRするためには、どのような人に知ってほしいか、ターゲットを決めて発信することが大事だと思う。また、区民については、地域の魅力を再発見しPRするなど、発信が重要だと思う。</li> <li>・ただそこに魅力がある、と言っただけでは人は来ないと思う。発信の仕方を工夫する必要がある。</li> <li>・生田緑地のサマーミュージアムは様々な世代が楽しめるイベントが多かった。これによりたくさんの方が生田緑地に来ており、PRになっている。このようなことから誰でも楽しめるイベントがあるなど、ただ魅力があると発信するだけでなく発信の仕方が大事だと感じた。また、住んでいる人（区民）が良いと思わないと取組も続かないと思う。</li> <li>・若い世代に向けて、幸区は「こんなに楽しい区」であることや、「住み続けられる区」であることをPRしたらどうか。</li> <li>・幸区には自然もあるし、芸術や学問もある。しかし、他の地域と比較す</li> </ul>

ると、どれも魅力として弱いと思える。

- ・幸区の魅力は、「暮らし」や「住む」というところではないだろうか。それらに関するコミュニティや魅力はたくさんある。「自然・芸術・学問」はあくまでも魅力のパーツで、核としやすい「暮らし」は幹。
- ・幸区には、南河原地区、御幸地区、日吉地区の3つの地区があるが、3地区それぞれの魅力をPRする。例えば御幸公園に施設をつくって、魅力発信拠点にする。
- ・幸区は公園以外にも多摩川があり、ロードレース系のイベントの開催にも向いていると思う。
- ・夢見ヶ崎動物公園に動物の動画を流せるところをつくったらどうだろうか。
- ・効果的に魅力を発信するためには、ターゲットを絞るべきだと思う。
- ・幸区は、交通の便が良く、商業や医療も充実しているなど、いろいろなものがそろっていて便利であり、コンパクトで住みやすいといえる。また、地域コミュニティも充実している。このため、幸区は「暮らしやすい区」と言えるのではないか。「暮らしやすい区」を発信したらどうか。
- ・「暮らしやすい区」のなかには、地域コミュニティも子育て支援も含まれるので、B部会の審議テーマとして良いと思う。

### 3 部会名について

- 事務局が資料4について説明した。

○資料4の候補名案①の「魅力発信でまちの活性化」に「つなぐ」というキーワードを入れ、「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」で決定した。

#### 【主な意見】

- ・「魅力」というキーワードは外せない。また、「発信」「地域コミュニティ」も重要だと思う。
- ・①の「魅力発信でまちの活性化部会」が良いのではないか。
- ・1つ1つは良い取組をしているが、つながっていない。有機的なつながりが必要なのではないだろうか。
- ・区民が愛着をもつ、関心を持つということが大事ではないか。
- ・「つなぐ」というキーワードを入れて「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」はどうだろうか。

### 4 第6期幸区区民会議（第2回）におけるB部会報告内容について

- 事務局より資料5について説明した。

○立候補により、伊藤委員が報告者となり、報告内容は案のとおり承認された。

5 今後のスケジュールについて

- 事務局より資料6について説明した。
- 今後のスケジュールについて確認・共有した。
- 1月以降の開催予定については委員の意見を踏まえてこれから調整することを確認した。

以上